

# 南病棟 2階

(皮膚科、形成外科、整形外科)

## 1. 看護単位の概要

病床数 36床

皮膚科 16床 形成外科 6床 整形外科 6床 共通病床 8床

## 2. 病棟の特徴

### 1) 皮膚科

悪性黒色腫や血管肉腫、有棘細胞癌などの悪性腫瘍に対する手術・化学療法や難治性潰瘍、尋常性乾癬、脱毛症、無汗症などの治療を行っており、高齢で生活自立度が低い患者さんも多い。悪性疾患や予後不良の疾患も多く、終末期に移行する場合があります、ターミナルケアの充実を図る必要がある。また退院後に処置の継続が必要となることも多く、患者の生活習慣やサポート体制、生活環境を考慮しながら外来や他職種と協力し退院支援を行っている。

### 2) 形成外科

乳がん患者の乳房再建術、難治性潰瘍、褥瘡、外傷による顔面骨折、唇裂・口蓋裂、小耳症、手足の奇形、母斑などの先天性疾患、熱傷などに対して、手術を中心とした治療を行っている。乳幼児から高齢者までと年齢層は幅広く、年齢に応じたケアが必要である。また、ボディーイメージの変化を伴う場合も多く精神的ケアも重要である。

### 3) 整形外科

変形性膝関節症、手根管症候群や DIP・PIP 変形性関節症、TFCC 損傷などの手指や上下肢の外科的治療を行っている。術後はリハビリ部門と連携して、退院後の生活を見据えて早期からリハビリテーションを継続して行っている。